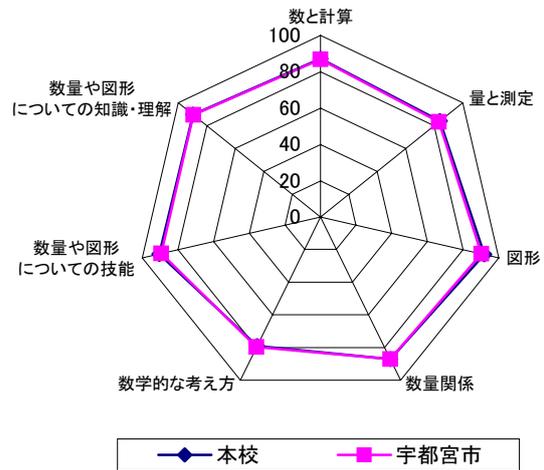


宇都宮市立宝木小学校第5学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と計算	87.1	86.9
	量と測定	84.1	83.2
	図形	91.7	90.2
	数量関係	87.0	87.0
観点別	数学的な考え方	79.1	79.6
	数量や図形についての技能	90.4	89.3
	数量や図形についての知識・理解	89.6	89.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算 (87.1%)	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は市の正答率とほぼ同等である。 小数の乗法の計算, 分数の加法・減法, 整数の約数, 最小公倍数はできていたが, 小数の除法やしくみ, 分数の約分, 小数と分数の関係で誤答が多くみられた。記述問題での小数の乗法の文章題では, つまずきがみられ市平均を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数の約分は最大公約数の復習を行わせる。また, 小数のしくみについては小数点の動かし方を復習したり, 小数の除法については, 計算の仕方を確認して練習問題を行ったりするなどの取り組みを行う。 小数でも「元になる値段×長さ」で代金が求められるなどの基本を押さえ, 文章題を多く解くことで習熟を図る。
量と測定 (84.1%)	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は市の正答率を上回っていた。 体積を求める計算は理解しているが, 応用問題になると誤答がみられた。また単位量あたりの大きさの問題で, 市平均をやや下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 三次元の立体の見方に慣れさせたり, 体積を求める公式をしっかりと覚えさせたりするなど, 計算も確実にできるように復習させる。 単位量あたりの大きさの概念を理解させ, 計算問題に取り組みさせる。
図形 (91.7%)	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は市の正答率を上回っていた。 三角形の角の問題では, よく理解しており正答率が高いが, 四角形の角については, 市平均をやや下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形や四角形の内角の和をしっかりと覚えさせ, 角の大きさの求め方を理解させる。また, 習熟を図るために練習問題を多く行う。
数量関係 (87.0%)	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は市の正答率と同等である。 比例の表や式の正答率は市平均を上回ったが, 分配法則の問題では誤答が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 比例についてはよく理解しているので, 今後も復習をさせる。 分配法則の理解を深め, 定着を図るためにも, 繰り返し指導する必要がある。数多く問題を解かせていく。